

## 令和元年度地域少子化対策重点推進事業(令和元年度補正予算)実施計画書(市町村分)個票

市区町村名 和歌山市 (都道府県: 和歌山県)  
 本事業の担当部局名 福祉局こども未来部子育て支援課

事業メニュー	優良事例の横展開支援
区分	結婚、妊娠・出産、乳児期を中心とする子育てに温かい社会づくり・機運の醸成の取組
関連事業メニュー	3-(2) 出産直後の男性の休暇取得や男性の家事・育児への参画を促進する機運を醸成するための取組
個別事業名	男性子育て推進事業
実施期間	交付決定日 ~ 令和3年3月31日
所要見込額 ※(注)1	1,000 千円 補助率: 1/2 (交付金所要額: 500 千円)
(個別事業の内容) ※(注)2	<p>【これまでの取組】</p> <p>和歌山県においては、社会生活基本調査(総務省)において、男性の1日の育児時間が平成23年は23分で全国最下位、平成28年は34分で36位という結果が出ており、改善はみられるものの依然低い水準にある。本市では、男性の家事・育児時間が少ないと第2子以降の出生割合が低くなることに鑑み、男性の家事・育児参画を推進するため、男性の子育て推進事業としてイクメン・イクボス推進に以前から取り組んでいる。</p> <p>イクボスについては、企業・団体に対して主に管理職を対象としたイクボス出前講座の開催、イクボス啓発リーフレットを作成・配布したことにより啓発は進んでいると考えられるが、ただし、仕事と家庭の両立に向けた働き方の見直しが必要とされる中、引き続きイクボスの推進に取り組むことが仕事・子育てを両立できる環境づくりにも資すると思われる。</p> <p>平成30年度に行った和歌山子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査では、仕事と子育ての両立で大変だと思ふ事柄について、「職場の理解や協力が得られない」及び「配偶者の協力が得られない」「家族や親族の理解が得られない」との回答が比較的多いこともあるように、仕事と子育てが両立できる環境づくりには、家庭と職場の両方での土台作りが必要であることから、令和元年度は企業・団体向けのイクボス推進とともに、主に母親を対象とした仕事と家庭の両立を考えるロールモデルカフェを開催した。</p> <p>令和2年度も引き続き、職場に対してはイクボスの推進、家庭ではパートナーがお互いの立場の理解を深め協力して子育て・家事・仕事を行えるような取組を行うことで男性の子育てを推進し、誰もが自身のライフスタイルや能力に応じた多様な働き方ができる環境を整えることとする。</p> <p>【課題】</p> <p>①企業・団体向けイクボス推進 イクボス推進にあたっては、主に企業・団体に向いてイクボス出前講座を年間2回行っており、和歌山県子ども未来課や和歌山商工会議所等を通して広報も行っているが、新規に希望する企業・団体がほぼない状態である。また、参加する企業・団体も固定化されつつある。 (来年度に向けての改善点) 本市は都市部に比べ大企業が少なく中小企業が多いことなどから、1企業・団体向けでイクボス出前講座を受講するような企業が少ないと思われる。そこで「出前講座」という形で行わず、セミナー形式で開催し、1企業・団体から1名の参加であっても、その参加者が自企業・団体に広めていけるような講習内容とし、市内業者・団体に広く参加できるように開催する。</p> <p>②家庭向け仕事と家庭の両立についての取組 今年度行った「母親のためのロールモデルカフェ」やイクボス推進前に開催したイクメンを推進する「父親のためのパパスクール」などは父親または母親向けの開催であったが、今年度実施した「母親のためのロールモデルカフェ」開催後のアンケートでは、「この話を夫にも聞かせたかった」「夫・パートナー側からの意見も聞きたい」などの意見があった。また、主に平日開催であったためか申込者が定員より少なかった。 (来年度に向けての改善点) 家庭に向けての取組について、夫婦・パートナーを対象としたワークショップも開催し、お互いの意見を交換できる場を作る。 子育てと仕事の両立について考える場とするため、現在仕事をしている方も参加しやすく、また夫婦で参加しやすい土日の開催日を取り入れる。</p> <p>【事業内容】</p> <p>①企業・団体向けイクボス推進 ・イクボスセミナー ○実施回数・人数 全2回 各30名 ○講習内容 新しい事例などを取り込んだ講座を引き続き行うとともに、講習のテーマについて工夫をし、単なる「イクボス推進セミナー」ではなく、イクボスについての啓発が進めば、和歌山市全体が変わることを認識させることにつながる内容とする。また、2回ともテーマは異なるものとするが、初回は初心者向け、2回目は応用編とするなど、連続性のあるセミナーの進め方とする。</p> <p>個 別 ○広報</p>

事業の内容

広報チラシを作成し、昨年度に引き続き和歌山商工会議所等に依頼し、市内企業に周知するとともに、本市男女共生推進課及び産業政策課と連携しイベント等で周知するとともに、和歌山県に協力を仰ぎ結婚・子育て応援企業同盟へ加盟する企業に周知する。また本市企画課と連携し、本市で令和2年1月に発足したSDGs推進ネットワークに参加する企業・団体にも周知する。さらに、チラシの配布等だけでは、新規に講座を希望する団体が見つからなかったため企画課等で行われる企業・団体向けイベントに直接出向き広報する。

【チラシ配布先】3,000部(1,500部×2回)2回開催で1回ごとにチラシを作成予定

- ・和歌山商工会議所 500部
- ・和歌山県中小企業家同友会 100部
- ・和歌山県経営者協会 150部
- ・SDGs推進ネットワーク参加企業 200部
- ・和歌山県結婚・子育て応援企業 200部
- ・男女共生推進課・産業政策課、市役所庁内、市の関係施設配布用 350部

②家庭向け仕事と家庭の両立についての取組

・チーム「夫婦」講座

夫婦・パートナーがお互いの立場について理解を深め、チームとして子育て・家事・仕事に挑む関係を築き、仕事と子育ての両立をかなえることを目的としたワークショップを行う。

○実施回数・人数 全3回 各30名(夫婦・パートナー限定の場合15組)

○内容

基本は夫婦・パートナー向けワークショップであるが、夫婦・パートナーで参加が難しい方でパートナーなしでも参加しやすいような内容も取り入れる。お互いの考えや立場について意見交換できる時間をもうけ、夫婦・パートナーがチームとして家事・育児に取り組むことができる関係性が築けることを目的とする。

○主な対象者

子育て中の夫婦、共働き夫婦、母親、父親、これから結婚を考えられている方など

○広報

広報チラシを作成し、本市男女共生推進課及び産業政策課、生涯学習課で行う市民向けのイベント時での広報や地域子育て支援拠点施設及び子育てひろば等での周知。市関係施設等に設置

スマートフォンアプリでの配信

【チラシ配布先】3,000部(1,000部×3回)3回開催で1回ごとにチラシを作成

- ・市関係施設(各コミュニティセンター、市民図書館等)340部
- ・本市関係課でのイベント時 200部
- ・子育てひろば 100部
- ・地域子育て支援拠点施設 360部

【積算根拠】

業務委託料 1,000千円

(参考)

- ・講師料(交通費・資料作成含む) 440,000円(内交通費60,000円)【イクボス220,000円・夫婦220,000円】
- ・印刷製本費 150,000円 【イクボス75,000円・夫婦75,000円】
- ・広報費用 110,000円(切手代込) 【イクボス55,000円・夫婦55,000円】
- ・消耗品費 40,000円 【イクボス20,000円・夫婦20,000円】
- ・会場借上料 60,000円 【イクボス24,000円・夫婦36,000円】
- ・一般管理費(企画運営・託児調整)200,000円 【イクボス50,000円・夫婦150,000円】

【事業内容を検討する上で参考とした既存事業】

- ・イクボスセミナー 金沢イクボス企業同盟でのセミナー内容
- ・夫婦向け講座 福岡県春日市「仕事も子育ても夫婦で楽しむ！子育て夫婦のためのライフデザイン講座」

【次年度以降に向けた事業の方向性】

令和2年度に実施するセミナー・ワークショップ後の参加者アンケートや参加申込数に基づき、参加後の意識変化や開催場所・開催日・周知方法について検証し、男性の家事・育児参画の促進に向けより効果的な実施方法について検討する。

【事業実施にあたっての留意点】

本事業の実施にあたっては、実施要領記載の留意事項を踏まえて実施することとする。

	KPI項目	単位	目標値	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)3	・イクボスセミナー参加者数(1回につき)	人	30	
	・1回ごとのイクボスセミナー応募定員における参加者数の割合	%	100	
	・夫婦を対象としたワークショップ参加者数(1回につき)	人	30	
	・1回ごとのワークショップ応募定員における参加者数の割合	%	100	
	・自社でイクボスを推進しようとする参加者の割合	%	100	
	・イクボスセミナーが自社で役立つと感じる参加者の割合	%	100	
	・夫婦・パートナーで仕事と子育ての両立について考えるきっかけとな	%	100	
	・夫婦講座を友人等にすすめたいと思った参加者の割合	%	100	
個別事業の内容				
・都道府県との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)4	和歌山県に協力のもと、和歌山県が100以上の企業・団体からつくる「わかやま結婚・子育て応援企業同盟」に加盟する市内事業者にイクボスセミナーについての周知を行うとともに、県民向けのイベント開催時ワークショップの広報を行い、参加を募る			
・民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)5	和歌山商工会議所、和歌山県経営者協会、和歌山県中小企業家同友会の協力のもと、会員の事業所にイクボスセミナーについて周知を行い参加を募る			
・男女共同参画部局など関係部局等との連携・配慮事項 ※(注)6	※優良事例の横展開支援事業を実施する場合、記載してください。 (関係部局等) 市民部男女共生推進課 産業部産業政策課  (配慮すること) 市民向け及び企業向けイベントにおいて、本事業を広報する。			
・委託契約の有無及び契約方式 ※(注)7	※優良事例の横展開支援事業を実施する場合、記載してください。 <input checked="" type="checkbox"/> 有(以下の①～③から該当するものを選択してください) <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> ①企画提案方式(プロポーザル方式、コンペ方式) <input type="checkbox"/> ②競争入札方式 <input type="checkbox"/> ③随意契約 (事業の内容) (随契の理由)			
・システム等導入に係る管財部局の確認 ※(注)8	※優良事例の横展開支援事業を実施する場合、記載してください。 該当する取組の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 有の場合の担当部局: <input checked="" type="checkbox"/> 無			

(注)

1「所要見込額」には、本交付金の対象経費支出予定額を記入すること。また、金額の根拠となる資料(見積書等)を添付すること。併せて、「交付金所要額」には「所要見込額」に補助率を乗じた額(千円未満切り捨て)を記入すること。

2「個別事業の内容」には、個別事業の具体的内容を記載すること。また、事業内容を検討する上で参考とした既存事業があれば、都道府県名又は市町村名、事業名を記載すること。※個別事業を次年度以降も自立的に発展させるため、事業内容の末尾に必ず次年度以降に向けた事業の方向性を記載すること。

3「個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」には、本個別事業の各区分における取組全体像における位置付けを踏まえ、どのような考え方のもとどのくらいの効果が見込めるのか、それを測るためにどのようなKPI及び定量的成果目標を決定したか、達成予定時期を含め記載すること。また、各市町村は、個別事業ごとに効果検証を実施し、都道府県にその詳細な結果を都道府県が別に定める日までに報告すること。

※過去に関連する事業を実施している場合は、過去に設定したKPIを踏まえたKPIを設定すること。

(過去に設定したKPIも別紙に記載すること。)

4「都道府県との連携・役割分担の考え方及び具体的方策」には、本個別事業を都道府県と連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記載すること。

5「民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を民間事業者との連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記入すること。

6「男女共同参画部局など関係部局等との連携・配慮事項」には、特定の価値観の押し付けにならないよう観点から、計画策定に当たり連携した関連部局等及び事業の実施に当たり連携する関係部局等並びに事業の実施に当たり配慮することを具体的に記載すること(優良事例の横展開支援事業を実施する場合)。

7「委託契約の有無及び契約方式」には、取組中の委託契約の有無及び有の場合には予定している契約方式を記載すること。また、競争性のない随意契約による契約を予定している場合は、事業の内容及び随意契約とする理由を記載すること(優良事例の横展開支援事業を実施する場合)。

8「システム等導入に係る管財部局の確認」には、マッチングシステム、アプリの構築等のシステムに関する取組の有無及び有の場合には、事業の内容及び確認を行った部局名を記載すること(優良事例の横展開支援事業を実施する場合)。